昭和28年創刊
教育学術新聞
教育学術新聞
東京都千代田区九段北4－2－25　私学会館内
編集兼発行人小出秀文
ＴＥＬ　03（3261）7048
ＦＡＸ　03（3261）0769
毎週水曜発行（第５水曜休刊）
購読料　年4800円（税込）
©教育学術新聞 2022
www.shidaikyo.or.jp

2022年 新春特集号

〈もくじ〉

●新春座談会　予測困難な時代の強い私立大学ガバナンス＝小原芳明氏、谷岡一郎氏、谷山弘行氏、中山峰男氏、水戸英則氏、小出秀文氏……1面～4面
●年頭所感　日本私立大学協会長・副会長……4面～5面
●米国高等教育の今―パンデミックを経験して　木原由貴氏……6面
●沖縄戦後史のなかのキリスト教　一色哲氏……7面
●鉄道開通150年―関西の鉄道開業と「駅ナカ」の源流　谷内正往氏……8面
●東京スカイツリー開業10周年　平山一城氏……9面
●私学関係者紙上名刺交換……8面～11面
●玉川大学出版部刊行図書……12面

2022年

予測困難な時代の強い私立大学ガバナンス

新春座談会

私学の多様性で難局に立ち向かう
私大の現場に即したガバナンスを考える

令和４年の新春を迎え、本紙ではじめ、副会長・常務理事ら別掲の６氏による新春座談会を開催した。なお、新型コロナウイルス対策のためにオンラインも活用して実施し、司会は小出秀文同協会常務理事・事務局長が務めた。昨年も一昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大によりパンデミックとなり、全世界で社会活動が停滞した１年になった。また、昨年７月に文部科学省に設置された「学校法人ガバナンス改革会議」の前例のない審議、そして12月に提出された報告書に対応を余儀なくされた年でもあった。このたびはコロナ禍への対応とともにガバナンス改革について現場に即した議論をしていただいた。（令和３年12月３日に実施）

出席者（順不同）

谷山弘行氏
日本私立大学協会副会長
北海道支部長
酪農学園大学理事長

谷岡一郎氏
日本私立大学協会副会長
関西支部長
大阪商業大学理事長・学長

小原芳明氏
日本私立大学協会会長
玉川大学理事長・学長

小出秀文氏（司会）
日本私立大学協会常務理事・事務局長
教育学術新聞編集兼発行人

水戸英則氏
日本私立大学協会常務理事
二松学舎大学理事長
（オンライン出席）

中山峰男氏
日本私立大学協会副会長
九州支部長
崇城大学理事長・学長

小出：新年、あけましておめでとうございます。

令和４年は干支が「壬寅（みずのえ・とら）」となります。『陽気をはらみ、春の胎動を助く』、つまり、冬が厳しいほど、春の芽吹きは生命力にあふれ、華々しく生まれることを表しています。まさにコロナをはじめ、私立大学を取り巻く状況は厳しいものがありますが、これを乗り越えると私学がさらに発展、振興していくということでしょうか。

さて、毎年、述べているようにも思いますが、昨年は大変な年でした。本協会加盟410校は、100年に１度のパンデミックの中で、創意工夫の取り組みを力強く展開してまいりました。まずもってそのことに敬意を表さなければなりません。

一方、高等教育政策や大学行政などに目を向けますと、コロナ禍への対応とともにDX化、IoT化など新時代への対応課題も山積でしたが、特に「学校法人ガバナンス改革」という重要問題に追われた（ている）１年でもありました。

中央教育審議会大学分科会にありましても、大学の質保証や大学設置基準の大幅改正といった議論が開始されたり、コロナ禍で予期せず加速するSociety 5.0、つまり情報化社会の次に来る時代への対応、同時にまた全国の大学からは定員未充足などの経営課題もいよいよ深刻になっているといった声が聞こえてきてます。

更には、昨年11月からコロナのオミクロン株が出てきて、留学生の受け入れが再開されたと思いきや、すぐにストップになる。あるいはまた、学術研究の「みなし輸出規制」など各国大学との学術交流に関わる根幹的な問題も、大学の国際交流上の重要課題として提起されました。

こうしたテーマを踏まえて、本日は全国各地で高等教育を先導し、また日々大学の現場で骨粉砕身のご努力を払われている先生方から、大学は今後どのような役割を果たしていくのか、とりわけ多様な建学の理想の実現のために創意工夫する私立大学の在り方や新しい時代の大学像について大いに語っていただければと思います。

特にガバナンス問題は、私立学校全体に重大な影響をもたらす焦眉の最大関心事でありますので、本協会で中心的な役割を果たしていただいた「私立大学基本問題研究委員会大学経営部会」の水戸先生から、その対応経過や主張についてご披露していただければと考えております。

それでは、先生方には、まずは大学のお取り組み、地域の様子などご紹介のうえ、昨年を振り返り明年への抱負を語っていただければと思います。会長の小原先生からいかがでしょうか。

小原：皆さま、あけましておめでとうございます。

一昨年と昨年にわたってコロナ対策で大変でしたね。今年はコロナ対策３年目に入ることになります。最近出たオミクロン株が最後になるという観測がある一方、この後も続々と続くかもしれない。まさにこの先、どうなるか分からない中にあって、われわれはそれぞれの学校でそれぞれに計画を立てて実行しなければなりません。

大事な点として、コロナ禍が収束に向かい、コロナ前の平常時に大学が戻るということを前提に、どういった計画を立てていくのかを考える必要があります。特に、対面授業、あるいは遠隔授業をどのような組み合わせが各大学にとって最適かを探っていくことが今年も続くことになります。

そして昨年は、私立学校のガバナンス問題が浮き上がってきました。５年ほど前にいったん解決したはずなのになんでまた今頃出てきたのか、「まるでゾンビだな」という印象がありました。だからといって、そのまま無視するわけにもいかないし、昨年12月の報告書に対して、われわれ私学人がどう対応していくかということを、2021年度の残り３か月で考えなければなりません。

いずれにしろ、いつの時代も私立大学が順風満帆といった年はなく、むしろ毎年、荒波を何とか乗り越えてきました。ですから、2022年度もこの荒波を今まで蓄えた力をもって乗り越えていくことができると信じて本年を迎えたいと思います。それぞれ地域によって異なる課題がありますが、ここは一致協力して知恵を出し合って乗り切っていきたいと考えています。

対面授業の重要性とこれからの教育

小出：ありがとうございました。それでは、続いて谷岡先生からいかがでしょうか。

谷岡：皆さま、あけましておめでとうございます。

大阪を含む関西地区では、この１年間、全国的に見て多いコロナ感染者数を出していたのです。その理由をずっと考えていたのですが、よく言えば、自主独立性。ただ、こういう時に「お上の言うことなんか聞いていられるかい！」という勝手な行動原理も持っているようなのです（笑）。それを良いほうに変えていかなければいけないというのが、われわれ関西の人間に課せられた課題なのだろうと思います。

ところで、いま小原会長がおっしゃいましたとおり、対面授業に戻している大学が増えています。私自身もまだ授業をしていますが、その中で気が付いたことがあります。それはコミュニケーションに慣れていない学生が増えているなあということです。授業前に「私の授業は積極的に発言しないと加点しない」と言っているにもかかわらず、自分から意見を言おうとしない。今までにはなかった傾向です。

実はこれまで日本の大学では、キャンパスにおけるフェイス・トゥ・フェイスの対話の中でコミュニケーション能力が培われていたのだ、という思いを改めて持った次第です。ですから、これからの大学の機能の１つに、コミュニケーション能力の育成もかなり重要になってくるのではないか。そのような仮定を置きつつ、新型コロナとどう付き合っていくのかは、各大学のリーダーに課せられた大変難しい問題だと考えています。

大阪商業大学では、これから２つのキーワードで学生を育てていこうと考えています。１つ目は、「打たれ強さ」です。予測不可能な時代において、まさに予期せぬことが次から次へと起こってくるわけですが、ちょっとしたことでつぶれてしまうような学生であっては、教育としては失敗なのだということ。２つ目は、「臨機応変」ということです。自分の頭で考え行動する。そのために、こういう場面であれば自分は何をすべきか、特にこれからの世の中は前例のないことばかりが起こりますから、そんな中で、自分で決断できる学生を育てていく。本学では、この２つのキーワードを中心に据えて教育をもう一度見直していきたいと考えています。

小出：続いて、九州の中山先生はいかがでしょう。

中山：あけましておめでとうございます。

コロナ禍にあって、最大の犠牲者は学生だったのではないかと思っています。2020年４月に政府から緊急事態宣言が発せられると、全国のほとんどの大学が構内を閉鎖するという形になり、今の２年生の大学での学業がスタートしました。当時、崇城大学にあっては、直ちに教学検討委員会を立ち上げてコロナ禍における教育をどうしていくか検討しました。ほぼ毎日のように会議を開いて、半年間、ずっと積み上げてきました。

本学は理工系ですから、実験・実習はどうしても対面でやる必要があり、2020年度は遠隔７割、対面３割で進めてきました。2021年度はそれが逆転しまして、対面７割、遠隔３割で実施してきたところです。今年度前期が終わった段階で、学生の成績評価を2019年度と比較してみまして

（2面へつづく）

次号は１月12日付です

A·PUJ
ASSOCIATION OF PRIVATE UNIVERSITIES OF JAPAN SINCE 1946

新時代を築く
私立大学！

地域を拓く私立大学
地域リーダーの養成

多様な価値を
創造する私立大学

日本から世界へ
グローバル人材の養成

日本私立大学協会　Tel.03-3261-7048　Fax.03-3261-0769
〒102-0073東京都千代田区九段北4-2-25（私学会館別館9階）

日本私立大学協会加盟大学

加盟410大学
2022年１月現在

北海道
旭川大学　北海学園大学　札幌大学　北海商科大学　札幌大谷大学　北海道医療大学　札幌学院大学　北海道科学大学　札幌国際大学　北海道情報大学　札幌保健医療大学　北海道文教大学　星槎道都大学　酪農学園大学　天使大学　日本医療大学　函館大学　藤女子大学　北翔大学　北星学園大学

青森県
青森大学　八戸工業大学　青森中央学院大学　弘前医療福祉大学　柴田学園大学　弘前学院大学　八戸学院大学

秋田県
秋田看護福祉大学　ノースアジア大学

岩手県
岩手保健医療大学　富士大学　盛岡大学

山形県
東北芸術工科大学　東北文教大学

宮城県
尚絅学院大学　仙台大学　東北医科薬科大学　東北工業大学　東北生活文化大学　東北福祉大学　東北文化学園大学

福島県
医療創生大学　東日本国際大学　奥羽大学　福島学院大学　郡山女子大学

茨城県
茨城キリスト教大学　筑波学院大学　日本ウェルネススポーツ大学

栃木県
足利大学　宇都宮共和大学　国際医療福祉大学　作新学院大学　文星芸術大学

群馬県
育英大学　高崎健康福祉大学　共愛学園前橋国際大学　高崎商科大学　群馬医療福祉大学　東京福祉大学　上武大学

埼玉県
浦和大学　共栄大学　埼玉医科大学　埼玉学園大学　埼玉工業大学　十文字学園女子大学　尚美学園大学　女子栄養大学　駿河台大学　東都大学　東邦音楽大学　日本医療科学大学　日本工業大学　日本薬科大学　人間総合科学大学　平成国際大学　武蔵野学院大学　明海大学

千葉県
愛国学園大学　淑徳大学　聖徳大学　千葉科学大学　千葉経済大学　千葉工業大学　千葉商科大学　中央学院大学　東京基督教大学　麗澤大学　和洋女子大学　植草学園大学　江戸川大学　開智国際大学　亀田医療大学　川村学園女子大学　神田外語大学　敬愛大学　三育学院大学

東京都
上野学園大学　桜美林大学　大妻女子大学　嘉悦大学　北里大学　杏林大学　国立音楽大学　工学院大学　国士舘大学　駒沢女子大学　昭和大学　昭和薬科大学　女子美術大学　白梅学園大学　杉野服飾大学　高千穂大学　玉川大学　多摩美術大学　帝京大学　帝京平成大学　東京医療学院大学　東京音楽大学　東京家政大学　東京家政学院大学　東京工科大学　東京工芸大学　東京純心大学　東京女子体育大学　東京聖栄大学　東京成徳大学　東京造形大学　東京電機大学　東京都市大学　東京富士大学　東京未来大学　東京薬科大学　東京理科大学　桐朋学園大学　二松学舎大学　日本医科大学　日本歯科大学　日本社会事業大学　日本獣医生命科学大学　日本女子体育大学　日本赤十字看護大学　日本体育大学　文化学園大学　文化ファッション大学院大学　文京学院大学　星薬科大学　武蔵野音楽大学　明治薬科大学　明星大学　目白大学　ヤマザキ動物看護大学　ルーテル学院大学

神奈川県
麻布大学　神奈川大学　神奈川工科大学　神奈川歯科大学　鎌倉女子大学　相模女子大学　産業能率大学　松蔭大学　湘南医療大学　湘南工科大学　昭和音楽大学　洗足学園音楽大学　鶴見大学　田園調布学園大学　桐蔭横浜大学　日本映画大学　横浜商科大学　横浜創英大学　横浜美術大学　横浜薬科大学

山梨県
健康科学大学　身延山大学　山梨学院大学

静岡県
静岡英和学院大学　静岡産業大学　静岡福祉大学　静岡理工科大学　聖隷クリストファー大学　常葉大学　浜松学院大学

愛知県
愛知学院大学　愛知学泉大学　愛知工科大学　愛知工業大学　愛知産業大学　愛知淑徳大学　愛知東邦大学　愛知文教大学　愛知みずほ大学　一宮研伸大学　桜花学園大学　岡崎女子大学　金城学院大学　至学館大学　修文大学　椙山女学園大学　星城大学　大同大学　中部大学　東海学園大学　同朋大学　豊橋創造大学　名古屋音楽大学　名古屋外国語大学　名古屋学芸大学　名古屋経済大学　名古屋芸術大学　名古屋産業大学　名古屋商科大学　名古屋女子大学　名古屋造形大学　名古屋文理大学　名古屋柳城女子大学　日本福祉大学　人間環境大学　名城大学

岐阜県
朝日大学　岐阜医療科学大学　岐阜協立大学　岐阜女子大学　岐阜聖徳学園大学　中京学院大学　中部学院大学　東海学院大学

三重県
鈴鹿大学　鈴鹿医療科学大学

滋賀県
成安造形大学　びわこ学院大学　びわこ成蹊スポーツ大学

京都府
京都外国語大学　京都華頂大学　京都光華女子大学　京都情報大学院大学　京都女子大学　京都先端科学大学　京都ノートルダム女子大学　京都美術工芸大学　京都文教大学　京都薬科大学　嵯峨美術大学　花園大学　佛教大学　平安女学院大学　明治国際医療大学

奈良県
畿央大学　帝塚山大学　奈良大学　奈良学園大学

大阪府
（左上参照）

和歌山県

兵庫県
芦屋大学　大手前大学　関西国際大学　関西福祉大学　甲子園大学　甲南女子大学　神戸医療福祉大学　神戸学院大学　神戸芸術工科大学　神戸国際大学　神戸女子大学　神戸親和女子大学　神戸常盤大学　神戸薬科大学　宝塚大学　宝塚医療大学　姫路大学　兵庫大学　武庫川女子大学

鳥取県
鳥取看護大学

島根県

山口県
宇部フロンティア大学　東亜大学　徳山大学　梅光学院大学　山口学芸大学

広島県
エリザベト音楽大学　比治山大学　広島経済大学　広島工業大学　広島国際大学　広島国際学院大学　広島文化学園大学　広島文教大学　福山大学　福山平成大学　安田女子大学

岡山県
岡山学院大学　岡山商科大学　岡山理科大学　環太平洋大学　吉備国際大学　倉敷芸術科学大学　くらしき作陽大学　山陽学園大学　就実大学　中国学園大学　美作大学

香川県
四国学院大学　高松大学

徳島県
四国大学　徳島文理大学

愛媛県

高知県

福井県
仁愛大学　福井工業大学

石川県
金沢医科大学　金沢学院大学　金沢工業大学　金城大学　北陸大学　北陸学院大学

富山県
高岡法科大学　富山国際大学

新潟県
長岡大学　新潟国際情報大学　新潟医療福祉大学　新潟青陵大学　新潟経営大学　新潟薬科大学　新潟工科大学　新潟リハビリテーション大学

長野県
佐久大学　清泉女学院大学　松本大学　松本歯科大学

福岡県
九州栄養福祉大学　中村学園大学　九州共立大学　西日本工業大学　九州国際大学　日本経済大学　九州情報大学　福岡工業大学　九州女子大学　福岡国際医療福祉大学　久留米工業大学　福岡歯科大学　純真学園大学　西南女学院大学　聖マリア学院大学　第一薬科大学

大分県
日本文理大学　別府大学

熊本県
九州看護福祉大学　九州ルーテル学院大学　熊本学園大学　熊本保健科学大学　尚絅大学　崇城大学　平成音楽大学

宮崎県
九州保健福祉大学　南九州大学　宮崎国際大学　宮崎産業経営大学

鹿児島県
鹿児島国際大学　鹿児島純心女子大学　志學館大学　第一工科大学

長崎県
鎮西学院大学　長崎外国語大学　長崎国際大学　長崎純心大学　長崎総合科学大学

佐賀県
西九州大学

沖縄県
沖縄大学　沖縄キリスト教学院大学　沖縄国際大学

（都道府県別50音順に掲載）